

# 伊万里 市議会だより

第37号

平成23年  
(2011年) 4月



## みんな乗りにおいでよ～（おもしろ自転車）

3月補正：△1億529万円

補正後の予算

一般会計：226億2,644万円  
(対前年度同期 4,182万円 0.2%増)

平成23年度当初予算

一般会計：209億9,700万円  
(対前年度同期 6,908万円 0.3%増)

特別会計：153億3,618万円

### ■特集

- 福島第1原子力発電所の事故を受けて
- 休日夜間急患医療センターが新しくなります

## 平成23年伊万里市議会第1回定例会 会期日程

3月

開議時刻 午前10時  
(18日 午後1時)

日	種別	内容
1(火)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等45件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
3(木)	本会議	議案等に対する質疑
4(金)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
7(月)	休会	特別委員会 (交通網・港湾・企業誘致対策)
8(火)	休会	特別委員会 (地域医療・環境施設整備対策)
9(水)	本会議	一般市政に対する質問
10(木)	本会議	一般市政に対する質問
11(金)	休会	全休(中学校卒業式)
14(月)	本会議	市長提出追加議案1件上程 市長提出追加議案の提案理由説明 追加議案に対する質疑 追加議案の常任委員会付託
15(火)	休会	常任委員会
16(水)	休会	常任委員会
17(木)	休会	常任委員会
18(金)	休会	正副委員長会(小学校卒業式)
23(水)	本会議	意見書案の上程 意見書案の提案理由説明 意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会報告 特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 有田磁石場組合議会議員の選挙 閉会



## 議長退任あいさつ

議長 前田 教一

今期最後の議会だよりが発行されるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。この4年間多難ではありましたが、本市発展の大きな礎を築いた貴重な時でもありました。

工業用水道は3年余の歳月をかけ見事竣工し、懸案でありました病院建設も有田町との合意に至り夢が形に成っています。安心と安全こそ市民の最大の福祉であります。

伊万里港が重点港湾に指定され、また、西九州自動車道も谷口インター迄の供用目標が示されました。港湾と道路が一体となった利活用も近く、更に発展の時を迎えます。一方、今回の大震災と原発事故はまさに国難の時であり、地方財政に影響は必死であります。

議会、執行部共に市民皆様方のご協力も頂き、この難局を乗り切らねばなりません。これまでのご指導に感謝とお礼を申し上げ、退任のご挨拶といたします。

## 定例会会期日程など



### 意見書

#### 玄海原子力発電所3号機放射能漏れの原因究明を求める意見書

東北地方太平洋沖大地震により、原子力行政に対する安全神話が崩れた。県においては伊万里市から避難対象地区地域の10キロ圏外の見直しなど、再三の要請にこたえずにいる。今回の事態を踏まえて安心・安全を守る立場から、事故の原因究明と詳しい説明を九電に求めることを知事に要請する。

#### 森林・林業活性化施策を求める意見書

地球温暖化が深刻な環境問題となる中で、環境資源としての森林・木材に対し強い期待が寄せられている。よって、国に対して、森林経営の安定と山林の活性を図るための森林整備体制の確立を喫緊の課題として求める。

東北地方太平洋沖大地震により被災された皆さんに対し、心からのお悔みとお見舞いを申し上げます。

## 福島第1原子力発電所の事故を受けて

福島第1原発は地震に伴う津波の影響で「想定外」の状況になり、報道から目が離せない毎日です。まずは、一日も早い終息をお祈り申し上げます。

佐賀県内にも玄海原子力発電所がありますが、伊万里市で一番近いところは波多津町木場で直線距離が12km。ところが国は、原子力防災対策を重点的に充実させるべき区域の範囲としての緊急時計画区域（EPZ）を8～10km圏と定め、県もこれに追従してきました。

これまで伊万里市議会から国や県知事に対して意見書を提出し、市長からも申し入れを行うなど対策を求め続けてきましたが、国・県の壁は厚く、情報共有の部分だけが改善されたに止まっています。

今後は、県の地域防災計画（原子力災害編）に伊万里市への対策も加えるよう要請するべきだと考えます。そこで、この問題についてご一緒に考える材料として、玄海原発からの距離についての情報を共有したいと思います。



提供：佐賀新聞社（2011年3月28日付）

## 休日夜間急患医療センターが新しくなります

文教厚生委員会報告にもありますように、昭和54年の建設から31年が経過し、施設の老朽化と駐車場の確保がこれまでの課題となっていました。

今回、県西部地域医療再生計画基金を活用し、設備の充実と利用者の利便性向上を図るために、事業予算7,600万円で移転・新築することになりました。

[位置図]



	現施設	新施設
敷地面積	150㎡	845㎡
建築面積	100㎡	160㎡
駐車台数	2台	13台

## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました、条例議案10件及平成22年度補正予算及び平成23年度当初予算について審査し、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

### 「条例関連」

伊万里市特別職の職員の給与、伊万里市議会議員の議員報酬及び費用弁償、伊万里市報酬及び費用弁償・非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例などの一部を改正する条例。また、伊万里市消防団条例で、団長・副団長・分団長・副分団長の報酬および伊万里市教育長の給与を改正する条例などである。

### 「平成22年度一般会計補正予算」

#### 総務費

「黒澤記念館に関する合意書」に基づく、代理人弁護士に対して代理委任業務委託料の支払金391万9千円を支出。「地域活性化交付金」7,997万円を活用し9事業を行う。市民会館施設の整備・老人憩いの家施設の整備・竹の古場公園施設・道路・河川の改修・消防・学校・公民館施設の整備など。

### 「平成23年度一般会計予算」

#### 総務費

##### ・防犯灯設置費助成事業

各行政区が行う防犯灯の設置に対して、経費の一部を補助・設置事業費の1/2上限2万5千円まで。

##### ・浦ノ崎地区開発構想策定事業

県が整備している廃棄物処理用地の将来的な活用策について検討し、港湾整備に関する開発構想を行う。

##### ・井手口川ダム建設促進事業

平成23年度に完了する予定のダム周辺地域

振興策としてダム周辺整備を行う。

##### ・婚活応援推進事業

少子化対策の一環で、結婚活動相談等にあたる結婚支援相談委員を配置し、出会いの場や交流イベントなどを提供する協議会へ事業委託を行う。

##### ・地域の元気推進事業

自主、自立のまちづくりを推進するために、市内13地区町公民館を単位に策定したまちづくり計画に基づく実践活動に支援を行う。

##### ・次世代を創る研修事業

市民と行政との協働によるまちづくりを推進し、人材育成が重要であり国内と海外研修を交互に実施する。

#### 消防費

平成8年度年購入のはしご車を2,625万円の予算でオーバーホールをする。

また、今回の東北地方太平洋沖大地震への佐賀県緊急消防援助隊として、伊万里市からも5名の精鋭部隊(松本幸久氏、岩政英樹氏、山口展由氏、松本圭太氏、原 祐一郎氏)が支援活動に参加された。心から労りたいと思います。お疲れ様でした。



はしご車



派遣された消防隊員

◎前田儀三郎 ○山崎 秀明

前田 教一 松永 孝三 高木 久彦

占野 秀男 盛 泰子 浜野 義則

### 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、  
教育委員会、市民病院

当委員会に付託されました条例議案、2件、一般議案1件、補正予算3件、新年度予算（教育費、民生費、衛生費）と特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療特別会計）3件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきと決定致しました。

条例の主なものは、今年12月には新病院開院に伴い、一先ず7月1日より福祉組合議会に経営を移行するための関係条例を廃止し又改正する事が提案されました。

22年度の補正予算については、私立保育園支援事業として入所児童の増加が見込まれるため1281万4千円の増額を決定した。又自治公民館の県産木材利用の場合、建築費の50%補助となる制度を利用した。

博物館建設について質問があり、ある程度の期限を切った審議を行い、結論についてもあまり先延ばしするのは良くない等の意見が出された。又、寄付金の事について質問があり約1800万円あり建設資金として大切に保管しているとの回答を受けました。

衛生費の新規事業として休日、夜間急患医療センター移転事業費として7600万円の予算が計上されました。説明では現在の建物は建設から31年が経過し、施設の老朽化に伴う建替えと駐車場の確保を図るとの説明を受けました。休日、夜間の急患医療センターの医療事業としての機能がこのままで良いのか新病院としての兼ね合いはどうか等の意見が出されました。



現在の休日夜間急患医療センター



同 新築移転先

- ◎笠原 義久      ○草野 譲
- 内山 泰宏      船津 賢次      前田 久年
- 樋渡 雅純      島田 布弘      下平 美代

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

## 〔産業部〕

東日本大震災の状況説明と現地に対する、お悔やみと復興を願う挨拶があり委員会が始まり委員会に付託された条例議案等の審査を行いました。

まず最初に、市営月極駐車場の収納状況及び滞納対策については、過年度も含めて数件滞納が発生しており、幾度となく対象者に対し支払いのお願いをしてきたが、解消されない場合は契約解除となることを確認しました。

いまりんバスの乗客の利用状況としては昨年比2,300人の3.8%の減となっており、減少理由は介護施設や病院等の送迎バスの利用者が増え、いまりんバスの乗車率が下がっていると考えられます。

有害鳥獣駆除（イノシシ対策）にあたり12月補正後1頭当たり金額は当初7,500円を想定していたが、駆除頭数が増加し最終的には5,000円となった。イノシシ被害は深刻であり、農作物対策としてではなく、地域として本格的に取り組む（伊万里版イノシシ対策委員会）必要があるのではないかとの問いに対し、今後は踏み込んだ対策が必要があり、イノシシ被害は深刻であるとの共通認識を持ったところであります。

小規模土地改良事業の1件当たりの上限を上げられないかという問いに対し、地元の方も現在の額で納得いただいているが、今後は中山間や農地・水などの制度も活用して対応していきたいとのことでした。

長浜干拓でツル越冬事業が行われているが、鳥インフルエンザが各地で発生していることに対して、市内養鶏農家や干拓組合の農家の心情を察すると事業の執行は再考すべきではないかとの意見が出て突っ込んだ議論がなされた。市としては絶滅危惧種のツルの分散化計画の一環として取り組んでおり、監視活動は十分な意義があるため、今後は餌付けのやり方等も見直し関係団体と十分に協議したいとのことでした。当委員会としては、この件に関し3月中旬にも国内において、鳥インフル

エンザが発生しており、感染の拡大が懸念されることから、市内養鶏農家及び事業区域の農業者等関係団体の理解を得られたうえで、実施するよう要望し報告しました。

## 〔建設部〕

松島壩に於ける浸水対策事業は平成23年度までに都市計画決定、認可を受けその後、平成24年3月までに詳細設計の予定であります。整備完了は平成34年度となる見込みとのことです。3月21日に大坪バイパスの開通式もあり、市民センター付近までの乗り入れは容易になるが、その先の浸水地域と関連して、大坪・木須線の早期の全線開通が望まれるところで

## 〔水道部〕

水道が整備されていない辺地、山間部において水の確保に困難を極めることが多いと思われることから、簡易水道や共同配水施設について協議がされ、市内の未給水地域や今後の計画について説明を受けたところ、現在市内で21地区（人口約600人）において未給水となっており、部内で対応委員会を立ち上げであり、今後検討されます。



開通した大坪バイパス



同 テープカット

◎堀 良夫 ○松尾 博幸  
 松尾 雅宏 多久島 繁 渡邊 英洋  
 岩橋 紀行 田中 啓三 福田 喜一

## 地域医療・環境施設整備対策調査特別委員会報告

## 1. 伊万里・有田地区公的病院(仮称)建設事業

## (1) 新病院建設について

現在、病院本体建設の進捗率は約20%で、10月末までには予定通り完了する見込み。平成23年度は上・下水道整備や国道附加車線工事等の事業も実施される。新病院への引越しには、外来及び救急診療を休診する必要がある、11月26日(土)～30日(水)の予定。

## (2) 経営統合について

新病院開院を前に7月1日より両病院の経営統合が計画され、それまでの職員の身分や条件等に関して関係条例の整備がされた。統合後は病院運営が公営企業法の全部摘要に移行し、企画・予算等も自主性が尊重される半面、経営責任も大きくなる。

## (3) 新病院の名称(案)について

公募122点の中から「伊万里有田共立病院」が選定され、5月開催予定の伊万里・有田医療福祉組合議会で正式決定される予定。

## 2. ごみ処理広域化事業について

ごみ処理場は、セメント原料化システムの導

入が計画されていたが、組合議会の議員などからシステムの再検証を求める意見があり現在再検証中のため、今年度から計画されていた用地測量、敷地造成や取り付け道路建設の実施設設計等ほとんどが23年度に繰り延べて実施される事になった。今年度は大気質などの選定項目について調査・予測評価を行うための現地調査が実施されているが、現時点では施設建設は可能だとの判断が出されている。

伊万里市環境センターは老朽化が進み、毎年多額の経費をかけて稼働に不可欠な部分を優先して修理しながら使用している現状で、最終処分場も余裕がない状態である。

早急にごみ処理システムの選定を行い、計画通りの供用開始となるよう、今後の事業進捗が望まれる。



建設中の新病院

◎浜野 義則  
内山 泰宏  
山崎 秀明

◎松尾 博幸  
草野 譲  
堀 良夫

下平 美代

## 交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会報告

## 1. 西九州自動車道等交通網の整備について

## (1) 西九州自動車道について

北波多IC～谷口IC間が初めて平成26年度供用予定と明示された。用地平成22年度補正予算においても事業費が計上され相次いで改良工事の発注がなされている。

伊万里松浦道路についても、国土交通省より山代IC～今福IC間が平成26年度供用予定と公表された。

## (2) 国道498号大坪バイパスについて

国道498号大坪バイパスについては、市街地への車の流入が予想されることから、十分な交通安全対策を図られることと都市計画道路大坪木須線の早急な全線開通に向けて努力されることを要望する。

## (3) 県道黒川松島線バイパスについて

県道黒川松島線バイパスについては、本年2月10日県が提案された海側ルート案で地元の詳細が得られ、今後は国道204号バイパスとして、都市計画変更の手続きに入られる見込みである。

## 2. 港湾施設の整備について

昨年8月の重点港湾選定により港湾施設整備にはずみがつき、七ツ島地区多目的国際コンテナターミナル整備については、ドルフィン撤去が本年1月で完了し、基礎捨石・ケーソン据え付けが予定されている。また、ガントリークレーンの設計についても近々入札される。

臨港道路七ツ島線についても基本設計が完了した。平成23年度に用地測量及び地権者協議に入られるとのことであった。

## 3. 企業誘致について

企業誘致の立場からは、フォローアップの機会を捉え、21社に対し採用枠の拡大等の働きかけが行われている。

今後は、伊万里港の重点港湾の選定及び西九州自動車道の延伸を追い風にして、新たな工業団地造成も視野に入れ、積極的な企業誘致を引き続き進めるよう要望するものである。

◎松尾 雅弘  
渡邊 英洋  
笠原 義久

◎多久島 繁  
島田 布弘  
前田 義三郎

盛 泰子

# 一 般 質 問 (質問順)

## 一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
下平 美代 (一問一答)	1. 伊万里市散弾銃射撃場について (1)射撃場が伊万里市に存在することのメリットはなにか (2)射撃場あと地の整備費用のねん出と3億円の根拠について (3)射撃場がもたらす産廃処理について (4)射撃場の閉鎖の時期	占野秀男 (総括)	1. 市長提案理由の内容について (1)財政運営について (一般会計・企業会計) (2)環太平洋パートナーシップ (TPP) について (3)新統合病院について (4)新しい工業団地の確保について (5)企画立案能力を備えた職員育成について
		船津 賢次 (一問一答)	1. 住宅リフォーム助成制度の創設を 2. 特別養護老人ホームの増設について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 医療・保健施策について (1)ジェネリック医薬品の普及と認識 (2)ジェネリック医薬品「希望カード」配布 (3)医療保険財政への影響  2. 地域福祉について (1)総合相談支援と今後 (2)「買い物弱者」への対応 (3)安心を見守る多様な支援	盛 泰子 (一問一答)	1. 黒澤問題について (1)今後の検証 (2)監督官庁である県の責任 (3)寄付金の問題  2. 伊万里駅周辺の安全対策について (1)駅南側横断歩道 (2)バス停留所の移設  3. 救急体制の強化について (1)救急棟設置の見通し (2)救急救命士の確保 (3)東分署への高規格救急車の配備
		前田儀三郎 (一問一答)	1. 新統合病院の開院に伴い現市民病院の跡地活用について  2. 西九州自動車道がH26年度に谷口ICまで開通予定であるが伊万里市内にサービスエリアが建設出来ないか  3. 伊万里湾の一部に市民が利用する釣り場の整備が考えられないか
浜野 義則 (一問一答)	1. 伊万里駅バス停の移設について (1)西駅ビル広場に移設できないか  2. ごみ収集運搬業務の委託について (1)長年2業者との委託契約になっている理由 (2)委託料は適正なのか		



一般質問

射撃場の閉鎖

下平 美代

質問

①射撃場が伊万里市に存在するメリットと協会員人数

②閉鎖後の対策に3億円の試算の根拠とその捻出（他県には緊急雇用創出事業で2億8千万の補助で取り組んだ所もある）

③クレーを産廃として処理しない理由

④土壌検査なぜやらないのか

⑤佐賀大学の協力を得て休耕田の土壌検査実施、結果法基準上回る13倍の数値、放置は市による不法投棄、直に閉鎖

⑥3億円の捻出には時間を要する。閉鎖を優先すべきだ。

答弁 ①～⑤教育部長

⑥市長

①クレー射撃の練習や免許更新時、狩猟前の練習が近くでできる。クレー協

会員20人

②3億円の根拠は県営費用を参考にした。細かく積み上げた数値ではない。捻出は一般財源の支出となり厳しい。

③はじめは産廃として処理していたがクレーは場内において支障はないと思う。

④水質検査で十分と思っていた。地元からの要望は最近で、はじめから要望があったとは思っていない。

⑤びっくりした。現場の確認には行ったが佐賀大学に確認はしていない。土壌検査を環境大臣の指定する機関に依頼して再調査をしたい。

⑥歴代市長で「閉鎖をする」の発言は私をはじめである。県営の射撃場であって欲しいと考えているが、一方的に閉鎖は若干の問題がある。一方の方達の要望もあるが議会終了後直ちに地元のみなさんとの話を進めたい。尚閉鎖の方向に変わりはない。

ジェネリック医薬品「希望カード」配布

樋渡 雅純

質問

新薬と同じ有効成分、効果で厳しい基準のもと承認され、安全も確保されているジェネリック医薬品

米国で70%、日本で20%の普及とその推進は、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に大変重要である。

①市民病院での使用状況は。

②国、県の動き。

③ジェネリック医薬品「希望カード」配布時期は。

④10%使用した場合の財政効果は。

⑤市長の認識は。

答弁 ①～④市民部長

⑤市長

①薬事委員会にて検討され、20品目全体の3%。②24年度まで30%以上の目標、処方箋の書き方の変更や調剤報酬のメリットが生じる制度や、現場医療での適正使用手引書を

作成。

③8月めどに国保加入全世界に配布する。

④約1300万～1400万円が想定される。

⑤医師の判断が最優先されるが、今後医師会、薬剤師会の協力得て取り組む。

「買い物弱者」対策

質問

家族の支援も得られず食料品、生活必需品の買い物に困る高齢者の増加が心配される。宅配サービス、移動販売、移動手段の提供など、支援策は。

答弁 市民部長

切実な問題で相談も多い。まずはヘルパーによる家事支援の援助や、買い物支援、弁当、食材配達の間サービス情報を掲載した冊子を23年度には、全一人世帯に関係機関の協力を得配布したい。今後、相談、要望等参考に検討する。

伊万里駅バス停の移設について

浜野 義則

質問

伊万里駅バス停は雨風を防ぐ設備もなく車両交通にも支障が出ている。移設する考えはないか。

答弁 市長・産業部長

以前に検討したが地理的条件や諸問題があり実現していない。現在時間帯によって3分間隔で発着があり、車両の流れを阻害し交通安全上も問題がある。施設の公共性は高いものの営利事業の施設整備を行政が実施するのは問題もあり、基本的にはバス事業者が整備すべきだと思っている。隣接の市営駐車場も利用者が少なく一体的な整備が可能で、用地購入等のため事業者による施設整備が困難な場合は市が整備をして利用料を取ること考えられる。いづれにしてもこのままにはしたくないので事業者等とも協議をおこない移設ができるよう検討を進めたい。

ごみ収集運搬業務の委託について

## 一般質問

**質問** ごみの収集・運搬業務は長年市内2業者との随時契約による委託になっているがその理由及び委託料は適正なものになっているのか。

**答弁** 市民部長

一般廃棄物の収集運搬は廃棄物処理法の規定で市町村が行うものとされ、処理計画を作成し、住民の生活環境に支障をきたさないように適性に収集・運搬する責任がある。また市町村が業務を委託する場合の基準として、受託者が収集運搬に必要な車両や人員を保有しているか等の能力条件に加えて委託料が業務遂行に支障をきたさない額であることが規定されている。市内には1323箇所の集積場所があり、正確・適性に処理するため、業務を熟知した2事業者と随意契約による業務委託契約を実施している。委託料は法の趣旨を前提に、設定には算定項目として「人権費」「福利厚生費」「車両費」「被服費」「減価償却費」等の原価計算に基づき見積入札を行っている。他と比較しても適正なものかと判断しているが、今後更に詳細に検討して見極めていきたい。

## 市の財政運営

占野 秀男

**質問** 世界的な不況のなか税収の伸びは厳しく義務的経費は増加している。また第4工水利用も予定の半分以下との話もあるが運営は大丈夫か。市の借金はどうなっているか、財政運営は大丈夫か。

**答弁** 政策経営部長

一般会計212億、工業用水会計156億その他ありますが、起債返還は長期返済であり、(平均15年返済)であり直ちに財政に困ることはない。第一は景気回復だが、財政運営は今後厳しく運営したい。

## 新統合病院

**質問** 新病院の名称は、また12月1日開院予定に間に合うのか、その時に医師の

確保は大丈夫か。

**答弁** 市民病院理事

新病院名は一般公募の中から選考「伊万里・有田共立病院」に内定している。

医師確保にも努力し開院時に必要な22名以上の医師を確保できる見通しである。

## 新しい工業団地の確保

**質問** 企業誘致に力を入れると考えられているが、七ツ島団地、伊万里団地はほぼ完売、新しい団地の確保はどうするのか。

**答弁** 政策経営部長

財政厳しい折であり先行投資は難しいが、松浦バイパス沿線、西九州自動車道沿線の未利用学校用地跡等を考えている。

また浦ノ崎地先の県の廃棄物処理場の計画的利用について県と協議していきたい。

## 住宅リフォーム助成制度を

船津 賢次

**質問** 住宅リフォーム助成制度が全国で脚光をあびている。その状況を把握しているか。

**答弁** 建設部長

180の自治体、約1割で実施されている。

**質問** なぜ短期間に全国に広まったと思うか。

**答弁** 建設部長

地域経済の活性化策として有効であるということだと思ふ。

**質問** 県もこの制度に意欲的で、市町と調整すると発表している。事前に市内の大工さん等の実情や要望の把握、また、対象事業を広くする。手続きを簡素化するなど要望する必要があると思うか。

**答弁** 建設部長

事業概要がよくわかっていない。手続きについては簡素にする必要があると思ふ。

**答弁** 市長

県と協議し、景気対策として有効との確証が得られればこれにとりくむ。

## 特養の増設を

**質問** 老後の不安は病気や寝たきりになった時のことだ。施設介護が必要になり特養に申し込んでも2年位待たされると言われるが待機者の状況は。

**答弁** 市民部長

待機者は373人、重複を除くと289人、その内自宅での待機者は125人となっている。

**質問** 苦情はきていないか。

**答弁** 市民部長

苦情はないが、いつ頃入れるかという問い合わせはあっている。

**質問** 保険料は天引で徴収し、介護が必要になったら、2年もまたされる。理屈にあわないと思うか。

**答弁** 市長・市民部長

これまで要介護2〜5の施設介護率37%という制約があり、増設したくても増設できなかつたが、第5期介護保険計画では廃止されるので計画に盛り込みたい。

黒澤問題

盛 泰子

**質問** 1月末に権利金が返還されて安堵したが

- ①今後の検証は。
- ②第三者を加えるべき。
- ③県が財団を指導した際、市にリアルタイムで報告があったか。
- ④「権利金返還により他は不問に付す」との約束があるのではないか。
- ⑤市長の見解は。

**答弁** ①政策経営部副部長

②③④政策経営部長

- ①メンバーは未定、現在は必要資料の収集・分析中。財団収支報告書を精査し寄付金が使われた経緯等の検証を行う。
- ②その検討に時間がほしい。
- ③時間を要してはいるが概ね報告があつてはいる。
- ④その様なことは断じて無い。
- ⑤市としてチェックができていなかったことは市民に申し訳なく思っている。

救急体制の充実

**質問**

- ①12月議会で議論した救急棟についての検討状況。
- ②東分署への高規格救急車配置。
- ③救急救命士の最低必要人数。
- ④有資格者の採用枠

**答弁** 消防長

- ①現庁舎でのリフォームは困難。コミュニティ施設を伴うと国の支援対象となるようなので関係部署と協議を深めたい。
- ②救急救命士が足りないため普通型の救急車を配置。
- ③現在14名で最低必要数は18名。
- ④今年度実施したが受験者が少なく採用に至らず。今後も複数の採用がある時には採用枠を設け、救急救命士については受験年齢引き上げなどを行いたい。

伊万里駅周辺の安全対策

**質問** ガスト横の横断歩道をもっと安全に。

**答弁** 建設部長

関係機関と協議して研究したい。

市民病院の跡地活用について

前田儀三郎

**質問** 新統合病院開院に伴い市民病院の跡地の活用について。

**答弁** 市民病院理事

永い歴史の中で、二里村立病院として開院され現在の市民病院となっております。当時の職員の話をお聞きしますと大変ご苦労されたそうです。57年間の歴史があり今後は地元の意向も踏まえ検討して行きたい。

**質問** 早い時期に検討委員会を立上げ協議を再開していただきたい。

**答弁** 市長

色々な考え方が出来ると思います。民間活用や公共施設などがありますが、今後検討委員会等での諮問を受け取り組みたい。廃墟になるような事はしないと考えている。

**質問** 西九州自動車道が平

成26年度に谷口ICまで開通予定だが、ルート上にパークエリア・サービステリア等の建設は考えられないか。

**答弁** 建設部長

ルート上にその様な施設は厳しいと思います。それよりも一日も早く全線開通を考えて要望活動を優先させたい。

**質問** 伊万里湾の一角に釣り公園の計画は出来ないか。

**答弁** 建設部長

以前、ファミリパークの一角に「海辺のテッキ」の計画があつたが現在中止している。伊万里湾は工業団地で開発されており、現在は船の航路でもあり、浚渫工事も行なわれ伊万里湾内での釣り公園は厳しいと考えます。

次の人事案件を同意しました。

伊万里市固定資産評価審査委員会委員

- 森日出子 (再)、兼武修治 (再)、浦田丈一 (新)
- 田代光宣 (新)、立石充男 (新)、金子智美 (新)

## 行政視察受け入れの状況（平成23年1月～3月）

月	来訪議会名	人数	視察項目	
1	岡山県笠岡市議会	6	学校給食センター	会
	滋賀県東近江市議会	10	議会改革	会
	長崎県雲仙市議会	6	婚活応援	会
2	福岡県小都市議会	12	議会の総合計画への関与	委
	愛知県西尾市議会	5	特色ある学校づくり、いじめなし都市宣言	会
	石川県白山市議会	7	婚活応援、ファイナンシャルプランナーによる生活相談	会
	福岡県北九州市議会	1	★ファイナンシャルプランナーによる生活相談	会

※ 人数は議員の他、随行者も含みます。「委」は委員会、「会」は会派での視察を意味します

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています

※ 3月は議会中のため、視察申し込みはありませんでした

★ 多重債務への取組。顧客の収入・支出・資産・負債・保険の補償内容などに関するデータを集め、弁護士などの専門家の協力を得ながらプランを作成し、実行援助と見直しを行う。「家計に関するホームドクター」と言われる



第3回 伊万里郷大庄屋のひな祭り



伊万里保育園エイサー隊（キッズフェスティバル）

## 編集後記

はじめに、この議会だよりを目を通していただきありがとうございます。皆さまに厚くお礼申し上げます。

さて、3月から4月にかけては、それぞれの生活のなかでそれぞれの別れと出会の時期でもあります。この編集委員も今回の発行が最終となり、次回からは新メンバーとなります。

市の行政報告は広報で詳しくお知らせされますが、議会だよりの内容は結果の報告はもちろんなこと、そのれまでに至った経緯や審議過程をより解りやすく伝えることに気を使いました。

全体構成は写真・イラストを配置し、なるだけ見易いようにいたしました。特にホットコーナーや特集記事には議会側の目線ととらえたことを広報とは違った目線ととらえたことを広報とは違った感覚で明らかにした心算です。

これらは活字となることで重みがありますので、内容の正確性に努めるなど随分と心を配りました。そして更に、熱心な議員活動や熱心な委員会活動など



の紹介をいたしました。全委員での点検や校正は2回程実施し、合い間に間違いがないように担当職員との連絡もとりながら整理をいたしましたところ。そういつた気持ちを込めた作品でもあり、気掛けて読んでいただけて嬉しみに感じます。

終りに、全委員の和気合々のうちに編集会議の時間が経って、一応の終了となることに想いをめぐらし、万全のご協力に対して感謝しますとともに次期の方々のご奮闘を期待いたします。（山）

## 編集委員

◎山崎 秀明 ○多田 久年

前田 久年 草野 盛

松尾 博幸 盛 泰子

顧問 内山 泰宏 占野 秀男

樋渡 雅純

## 発行

伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五—一

☎0955—23—2111

☎0955—23—1277

E-mail: gikai@city.inari.lg.jp

## 編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社